

レジメン名	催吐リスク
<b>大腸がん FOLFIRI + Beva</b>	中等度

適応	切除不能な進行・再発の 結腸・直腸がん				
投与期間	2週間を1コースとして、不応になるまで継続				
	薬品名	投与量	投与ルート	投与時間	備考
①	グラニセトンバッグ <sup>®</sup> 3mg(1mgでも可) +デカドロン注6.6mg 1~2V		点滴	30分	
②	ベバシズマブ(Beva) 生食100mL	5mg/kg	点滴	※1	
③	イリノテカン (CPT-11) 5%ブドウ糖液250mL	150mg/m <sup>2</sup>	④と同時に点滴	2時間	
④	レボホリナート (I-LV) 5%ブドウ糖液250mL	200mg/m <sup>2</sup>	③と同時に点滴	2時間	
⑤	5-FU (bolus) 5%ブドウ糖液50mL	400mg/m <sup>2</sup>	全開で投与	5分程度	
⑥	5-FU(46h) 生食にて計115mL	2400mg/m <sup>2</sup>	インフューザー <sup>®</sup> ポンプ <sup>®</sup>	46時間	

※1 アバスチン注の投与時間：初回90分 2回目：60分 3回目以降：30分まで短縮可能

### 投与スケジュール

薬品名	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
アバスチン		↓														↓							
イリノテカン		↓														↓							
レボホリナート		↓														↓							
5-FU(bolus)		↓														↓							
5-FU(46h)		↓	→													↓	→						

### Day1 or 15

①グラニセトン+デカドロン (30分)

②アバスチン ※1

③イリノテカン 2時間 ※同時投与

④レボホリナート 2時間

⑤5-FU (bolus) 全開

⑥5-FU (46h) インフューザー<sup>®</sup>ポンプ<sup>®</sup>で46時間

### 減量規定及び中止基準

- ・血栓塞栓症既往のある患者は、アバスチン慎重投与
- ・FOLFIRIのみでも可（種々の理由によりアバスチン投与不可の場合）
- ・Grade4以上の有害事象、Grade3以上の血液毒性出現、FOLFIRI 80%doseにdown